

2019年4月24日
日鉄物産システム建築株式会社
(旧株式会社住金システム建築)
代表取締役社長 生井敏夫

18年度業績と19年度計画について

18年度の当社の受注高は前期比微増の224億円（前期222億円）、売上高は同16%増の234億円（同201億円）となり、いずれも過去最高を更新した。

地区別では東関東地区、関西地区、中国地区そして九州地区は過去最高の受注高となった。

受注棟数は232棟（同262棟）、受注床面積51万㎡（同50万㎡）、一棟当りの平均床面積2202㎡（同1910㎡）であった。当社の販売ネットワークである「日鉄物産システム建築会（*1）」の会員数は1505社(*2)となった。

(*1：旧住金システム建築会)

(*2：3月末での「日鉄物産システム建築会」会員構成比は、ゼネコン74%、流通14%、設計事務所12%)

業績が堅調な理由として、当社は基礎までシステム化した商品を保有し、慢性的な職人不足と現場管理者不足という建設業界が抱える問題を解消できることと、商品バリエーションが豊富であることが挙げられる。他に、地域に密着した営業体制、下請に徹している当社のビジネススタイルも、顧客である設計事務所やゼネコンから評価されている。19年度の受注高は220億円、売上高は230億円を見込む。当社は、今後も高い技術と真摯な姿勢を持ってお客様と向き合い、システム建築業界において“最初に声をかけられ、最後に選ばれる会社”となることを目指します。



物件名／「根本運送倉庫新築工事」 建設地／茨城県つくば市

用途／倉庫 商品名／ティオ 平屋／施工床面積／2,746㎡

建築主／根本運送株式会社様 設計者／株式会社中山設計事務所様 施工／パルつくば株式会社様